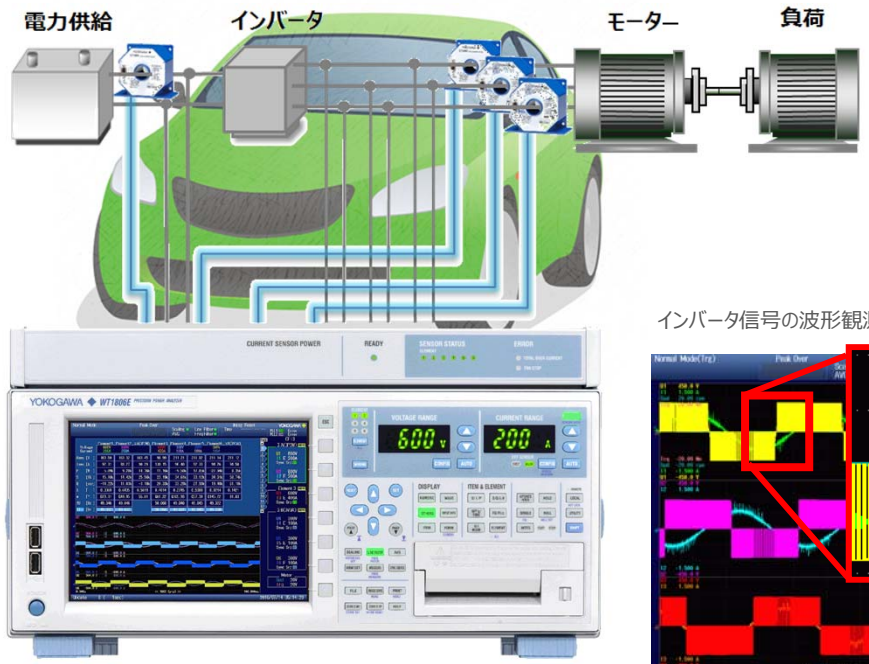
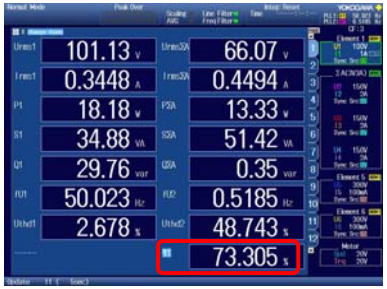
WT1800E　EV/PHV自動車の大容量インバータ効率試験

モーター制御は電子回路技術の発展により、さらに複雑さが増してきています。また、省エネルギーなど社会的な背景から高効率化を実現するために、より高精度でモーターやインバータの制御状態を評価するケースが増えてきています。WT1800E は最大6ch入力まで直接入力することができます。あるいは電流センサー用電源オプション（/PD2）を搭載することで、AC/DC電流センサーを使った大電流測定ができるため、インバータ評価における単相入力/三相出力のインバータ効率試験が可能です。また、モーター評価機能（オプション）を搭載することで、電圧、電流、電力、高調波データに加え、回転速度（A相、B相、Z相）、トルクの変化も同時に観測できます。さらに、標準搭載された高速データ収集機能を使えば5msごとの三相電圧、電流、電力データを収集できます。

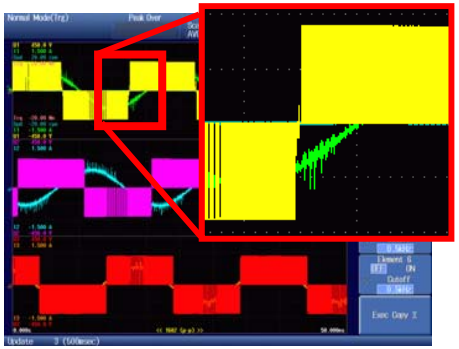


プレシジョンパワーアナライザ　WT1800E

インバータ入出力の同時計測と効率データ



インバータ信号の波形観測例



入出力信号、効率、モーター関連データの測定例

Copyright © Yokogawa Test & Measurement Corporation